

持続的血液浄化施行中のバンコマイシンの血中濃度測定 タイミングに関する後方視的な検討（オプトアウト）

この研究は、患者様の診療情報を用います。

（研究課題名）

持続的血液浄化施行中のバンコマイシンの血中濃度測定 タイミングに関する後方視的な検討

（研究責任者）

薬剤科 小林 洋平

（研究目的）

本調査では、持続的血液浄化を施行する際に、抗 MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (Methicillin-resistant Staphylococcus aureus) 薬の一つであるバンコマイシン (VCM) の血中濃度を測定するタイミングについて検討することを目的としています。

（研究方法）

【対象患者様】

2019年9月から2020年1月の期間内にりんくう総合医療センターの泉州救命救急センター救命診療科において持続的血液浄化の施行と同時にVCMを投与された患者様。(18歳未満の患者は対象外となります。)

【利用情報】

救急搬送の契機疾患、VCMの投与目的となった感染症、性別、年齢、体重、血清クレアチニン、尿中クレアチニン及び尿量、持続的血液浄化の条件(血液透析量、血液濾過量)、VCM血中濃度（トラフ値）、VCMの投与量及び投与スケジュール

（研究実施期間）

実施許可日～2024年3月31日

研究に利用する患者様の情報に関しては、お名前、住所など、患者様個人を特定できる情報は削除し、代替する管理番号にて匿名化し管理いたします。管理番号は、外部と接続できないパソコンで管理し、ファイルにはパスワードを設定いたします。また、研究結果に関して

は学会発表や学術雑誌投稿などを行いますが、その際も患者様を特定できる情報は削除して行います。

この研究に情報が利用されることをご了承いただけない場合はご連絡下さい。
また、この研究に関してご質問がございましたら、他の患者様の個人情報や研究全体に支障となる事項など以外はお知らせすることができますのでご連絡下さい。

(連絡先)

りんくう総合医療センター 薬剤科 小林 洋平

電話 072-469-3111(代表)